

2025 8月 鷹栖町図書室に新しくいった本 (7月分より)

たかす(一般)

『記憶の対位法』(高田大介／東京創元社)
『僕たちは我慢している』(藤岡陽子／COMPASS)

『みにくいふたり』(芦花公園／実業之日本社)
『還暦タイミーさん奮闘記』(須来間隼人／花伝社)
『図書館にゲームを！』(日向良和編著／日外アソシエーツ)
『ネット炎上事例300』(小林直樹／日経BP)
『日本の聖地解剖図鑑』(えいとえふ／エクスナレッジ)
『ルポ人が減る社会で起こること』(工藤哲／岩波書店)
『高認があるじゃん！2025～2026』(学びリンク)

たかす(児童)

『りょうこう』(麻生知子／福音館書店)
『おもしろそうないのぼり』(加藤休ミ／金の星社)

『キューのふるさととボルネオの森』(横塚眞己人／偕成社)
『けがをした日』(エンマ・アドボーゲ／ブロンズ新社)
『わかったさんのチョコレート』(永井郁子／あかね書房)
『ボードゲームづくり入門』(高橋晋平／岩波書店)

きたの(一般)

『あの子とO』(万城目学／新潮社)
『密やかな炎』(セレスティング／早川書房)

『今の会社、ヤバイかも！？』(退職代行モームリ／小学館クリエイティブ)
『善玉血液のつくり方』(渡邊剛／あさ出版)
『10着で十分』(大山シュン／三笠書房)
『古きものと帯で作る一点ものの洋服と小物』(吉田三世／ワニブックス)
『韓国ドラマ沼にハマって見たら』(角田光代／筑摩書房)

きたの(児童)

『おにぎりぱく！』(はらべこめがね／白泉社)
『本はともだち』(スギヤマカナヨ／子どもの未来社)

『こらしめじぞう 3』(村上しいこ／静山社)
『世界の力関係がわかる本』(千々和泰明／筑摩書房)

《紙芝居》

『みーちゃんておいでー』(相野谷由起／教育画劇)

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～

図書室だより
8月13日(水)は、鷹
栖地区住民センター
ふらっとで行われる
盆踊りに合わせて、図
書室が19:00までの
延長開室となります。
ぜひお立ち寄りくだ
さい。



7月の本棚リレーは
太田いづみさん
萌絵さんでした。

今後の音楽のある図書室

演奏者予定

8月 blanchéさん
フルート三重奏
9月 菊地美由紀さん
ギターとうた



7月の「音楽のある図書室」は
rikoonさんによる
ギターとうたでした。

☆新しくいった本は他にもございます。
図書室では新着図書のリストを配布して
おります。また、鷹栖町図書室の蔵書検
索から探すこともできます。



『扇谷家の不思議な家じまい』(実石沙枝子／双葉社)
『パズルと天気』(伊坂幸太郎／PHP研究所)
『飛越』(馳星周／光文社)
『メメント・ヴィータ』(藤原新也／双葉社)
『実際に介護した人は葬式では泣かない』(こかしさら／双葉社)
『遺骨と祈り』(安田菜津紀／産業編集センター)
『映画ビジネス』(和田隆／クロスメディア・パブリッシング)

『ハムスたんていとかいとうニャー』(柴田ケイコ／Gakken)
『ぼうさいセブン』(ふくだいわお／世界文化ワンダフル)
『おせわになりました』(ヘイズ優衣／絵本塾出版)
『すごいぜうたのちからって！』(ロレンツォ・サンジョ／イマジネーション・プラス)
『AIロボット世界のサバイバル 1』(ゴムドリco.／朝日新聞)
『こどもプログラミングDX』(たにぐちまこと／カンゼン)

『鯛飯と花嫁』(井川香四郎／幻冬舎)
『桜待つ、あの本屋で』(浅倉卓弥／ハーバーコリンズ・ジャパン)
『就職しないで生きるには 新版』(レイモンド・マンゴー／晶文社)
『奪われた集中力』(ヨハン・ハリ／作品社)
『ひんやりごはん』(蓮池陽子／山と溪谷社)
『マ・エノメーリ』(藤井隆／KADOKAWA)
『小さな勇気』(町田瑠唯／ベースボールマガジン社)

『グッスリホテルへようこそ』(あさくらまや／Gakken)
『シリアの秘密の図書館』(ヴァリ・ミンツィ／くもん出版)
『物理の学校』(和田純夫 監修／ニュートンプレス)

『みんなが知りたい！世界遺産』(「みんなが知りたい！世界遺産」編集室／メイツユニバーサルコンテ)

ほか